

平成28年度 施策評価シート

基本目標	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110 歴史ある文化を伝えつつ、新たな文化を創造する
施策	112 郷土の伝統文化や文化財を大切に、将来に継承する
施策の目標	「すみだ」の伝統ある文化を区民が将来に継承し、さらに発展させ、文化財を大切に保護しています。

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
「伝統文化が保護、継承されている」と思う区民の割合	%	65.0					71.6
「墨田区の歴史や文化をもっと学びたい」と思う区民の割合	%	78.0					70.0

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
旧安田庭園 納涼の夕べ来園者数(2日間)	人	4,500	4,500	5,500	6,000	6,000
隅田公園 さくらまつり期間中の来園者数	人	311,000	350,000	270,000	200,000	156,000
歴史文化の公園整備数	数			1		1

3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<p>・旧安田庭園については、平成17年度に旧安田庭園整備保存管理計画を策定し、平成20年度まで喫緊な課題について短期整備を進めてきた。その後は、両国会堂の活用計画との調整を図るため事業を休止していたが、平成27年度に新たに旧安田庭園中期整備計画を策定したので、今後は文化財庭園としての価値を高める魅力ある庭園整備を行っていく。</p> <p>・平成25年度に歴史文化公園整備事業として、露伴児童遊園に幸田露伴の人物像・作品等を解説したウォール及びカタツムリのモニュメント等を整備した。また、平成27年度には、両国公園で勝海舟の人物像・ゆかりのある人物や出来事を解説したウォール等の整備を行った。</p>

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性（選択肢に を付ける）
(1) 優先的に資源投入を図る。
(2) 現状維持とする。
(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】
・区内に点在する、公園内の歴史・文化資源の魅力を広く発信し継承していくため。
【今後の具体的な方針】
<p>・平成27年度に新たに策定した中期整備計画に基づき、両国会堂跡地に建設予定の刀剣博物館などの周辺施設と連携を図り、庭園の保存管理と更なる活性化・魅力向上を図る。</p> <p>・歴史文化公園整備基本計画に基づき、梅若伝説や榎本武揚にゆかりのある梅若公園の整備を実施する。</p>

事務事業名	旧安田庭園再整備事業		所管課・係	道路公園課計画調整担当
施策	112	郷土の伝統文化や文化財を大切に、将来に継承する	連絡先	03-5608-6661
予算書名称	歴史文化公園整備事業費		執行実績報告書ページ	157

1 事業の概要

<p>平成8年3月に東京都指定文化財の名勝に指定された旧安田庭園は、平成17年度に「旧安田庭園整備保存管理計画」を策定して、喫緊な課題について平成18～20年度まで短期的整備を行った。</p> <p>平成21年度以降は両国会堂の活用計画との調整を図るため整備を休止していたが、その後、東京スカイツリーの開業や両国会堂跡地への刀剣博物館の設置、両国国技館の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場決定等、旧安田庭園を取り巻く社会情勢や周辺環境の変化に対応するため、平成27年度に「旧安田庭園中期整備計画」を新たに策定して、文化財庭園整備に取り組んでいる。</p>	事業開始年度	平成17年度
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】誰(何)を対象としているのか	
公園利用者、来街者	に対して
【手段】どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)	
史実に基づいた昭和初期の姿に近づけるための整備・保存・管理を行い、来園者の利便性の向上に寄与する施設整備及び積極的な情報発信	を実施したことで
【目的】この事業によって対象をどのような状態にするのか	
文化財庭園としての価値を高め、江戸から受け継がれている歴史・文化資源の拠点のひとつとして、「すみだ」の魅力を広く発信する	状態にする。

目的を達成するための指標

種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	両国会堂解体設計(平成26年度)、解体工事(平成27年度)、中期整備計画策定(平成27年度)の実施	業務	目標値		1	2
			実績値		1	2
成果指標 (目的に対する指標)	「伝統文化が保護・継承されている」と思う区民の割合(墨田区住民意識調査より)	%	目標値	63.8	64.4	65.0
			実績値			71.6

目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)

公園整備及び伝統文化の保護・継承についての関心は目標を達成できている。平成26年度は、両国会堂の跡地活用(日本美術刀剣保存協会による博物館)が決定したことから、両国会堂の解体設計を実施した。平成27年度は、両国会堂の解体工事及び中期整備計画を策定した。平成28年は、両国会堂跡地の埋蔵文化財調査を行うとともに、中期整備計画に基づき、池の浄化、外周フェンスの改修等を行い、周辺施設との連携を図った庭園整備を進め事業推進に取り組む。

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円)*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	土木費	項	公園費	目	公園管理費	
27年度歳出予算額	78,500	27年度歳出決算額	74,801	27年度執行率	95.3%	28年度歳出予算額	266,853
27財源内訳(決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	有	無	有		収入額	
使用料等の収入の有無		無	使用料等名称				
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度実績額		28年度予算額		対象			
開始年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
ニーズは増加している。価値ある歴史・文化資源の継承の必要性は高く、基本計画のリーディングプロジェクトにも位置づけられているため必要な事業である。				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
既存の歴史文化資源の魅力を向上する事業であるため有効性は概ね適切である。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
類似事業は無い。有料化の可否を検討すれば受益者負担とする余地はある。施設を改修して庭園の価値を高めることにより、区内観光回遊事業との連携を図ることができる効率的な事業である。				
(4)現状と課題	平成27年度に策定した計画に基づき整備を進める。また整備後の公園利用を促進するための周知方法等、ソフト面についても検討する必要がある。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	事業の必要性を重視。整備計画に基づき順次整備を行っていく。
今後の方向性 (見直しの視点)	中期整備計画に基づき整備を進め、整備後の利用方法及び利用促進について検討を行っていく。		

平成27年度区 議会の質問状 況	時期	
	要旨	

作成年月日：平成28年6月22日

事務事業名	歴史文化公園整備事業		所管課・係	道路公園課工事担当
施策	112	郷土の伝統文化や文化財を大切に、将来に継承する	連絡先	03-5608-6293
予算書名称	歴史文化公園整備事業費		執行実績報告書ページ	157

1 事業の概要

貴重な地区資源である公園内の石碑や銅像周辺を修景改修し、訪れた利用者に対して地域ゆかりの歴史・文化を伝承していく場所として整備することにより、公園の魅力向上と周辺地域の観光回遊性向上を図る事を目的として公園を整備する事業である。	事業開始年度	平成24年度
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか						
地域住民、来街者	に対して					
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)						
公園内や地域に点在する貴重な歴史文化資源の修景整備	を実施したことで					
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか						
公園内の歴史文化資源を再発見し、すみだの歴史を感じ、地域の活性化及び観光回遊性が向上された	状態にする。					
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	整備公園数	箇所	目標値	1	-	1
			実績値	1	-	1
成果指標 (目的に対する指標)	「伝統芸術が保護、継承されている」と思う区民の割合 (墨田区住民意識調査より)	%	目標値	63.8	64.4	65.0
			実績値	-	-	71.6
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
整備実績の増加に伴い伝統文化の保護・継承に対する区民の関心は目標値を達成した数値となっている。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	土木費	項	公園費	目	公園管理費	
27年度歳出予算額	41,650	27年度歳出決算額	39,926	27年度執行率	95.9%	28年度歳出予算額	44,000
27財源内訳(決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	有	無	有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度実績額		28年度予算額		対象			
開始年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	どちらかといえば必要
<p>まち歩き観光者は増加傾向にあるためニーズは高い。地域に刻まれた貴重な歴史・文化資源の適正な継承を行うことで公園を訪れた観光客の期待に応えることができる。今後も観光客に対し満足度の高い施設に成り得ることが期待される。またリピーターや新たな観光客の増加も期待できる。休止または中止した場合の影響は大きい。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
<p>既存の歴史文化資源の魅力を向上するため、実施内容について有識者や教育委員会から助言を受けた上で実施しており、事業の有効性は概ね適切である。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>類似事業は無し。経費は横ばい。受益者負担は該当しない。 既存の歴史文化資源に特化した整備内容であり、他の公園施設整備を行う事業と連携を図ることで効率的に実施している。</p>				
(4)現状と課題	<p>目標どおりに整備が進められているので、整備後の公園利用を促進するための周知方法等、ソフト面についても検討する必要がある。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	<p>事業の必要性を重視。歴史文化資源は固有の特性によって改修内容を計画的に定めており、それらの基本的な内容を有識者や地元町会に提示しその意見を反映させた上で整備を実施する。 今後も歴史的な検証と地元の合意を得る方法で整備を図る。</p>
今後の方向性 (見直しの視点)	<p>基本計画に基づき整備を進め、整備後の成果の検証や利用促進について検討を行っていく必要がある。</p>		
平成27年度区 議会の質問状 況	時期		
	要旨		

事務事業名	すみだ北斎美術館周辺整備事業		所管課・係	道路公園課工事担当
施策	112	郷土の伝統文化や文化財を大切に、将来に継承する	連絡先	03-5608-6293
予算書名称	すみだ北斎美術館周辺整備事業費		執行実績報告書ページ	152

1 事業の概要

平成25年7月に策定された両国観光まちづくりランドデザインに基づき、平成28年開館予定の「すみだ北斎美術館」周辺道路について、来館者が往来し易いようにするため、段差解消や歩道の新設を行い、両国周辺の観光ルートを確保する。 また、北斎通り(清澄通り～大横川親水公園)の街路灯修繕及びバナーポールの設置、南割下水説明板の設置も行う。 ・整備路線 墨104号路線(北斎通り) 延長970m 墨7号路線(北斎美術館西側) 延長240m 亀沢2001号路線(北斎美術館南側) 延長90m 亀沢2002、2018号路線(北斎美術館東側) 延長65m	事業開始年度	平成27年度
	終了予定年度	平成28年度

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか								
すみだ北斎美術館来館者、来街者					に対して			
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)								
歩道の段差解消や歩道の新設					を実施したことで			
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか								
すみだ北斎美術館への通行負担が軽減された					状態にする。			
目的を達成するための指標								
種類	指標名(指標の説明)			単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	道路バリアフリー整備延長			m	目標値	6,485	6,485	6,485
					実績値	8,275	9,450	10,290
成果指標 (目的に対する指標)	道路・交通体系の整備に関する満足度 (墨田区住民意識調査より)			%	目標値			
					実績値		67.8	
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)								
事業開始からすみだ北斎美術館開館までの約1年半の短い事業期間の中で、順調に道路のバリアフリー化が進み、特に両国駅からの来館経路での通行負担が軽減されている。								

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路新設改良費	
27年度 歳出予算額	123,108	27年度 歳出決算額	114,143	27年度 執行率	92.7%	28年度 歳出 予算額	295,620
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金 無	都支出金 有	その他 無	一般財源 有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称				収入額	
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度 実績額		28年度 予算額		対象			
開始 年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
<p>ニーズは増加している。すみだ北斎美術館への両国駅、錦糸町駅からのアクセス道路において、来館される全ての人が安心・安全に通行することが必要である。美術館の東側、南側は歩道を設置し、公園利用者との分離を図ることが必須である。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
<p>指標は増加している。本事業については、墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画において優先して整備を行うべき路線(特定経路)として位置付けられており、道路管理者の責務である。 また、すみだ北斎美術館への来館だけでなく、両国周辺の観光ルートとしても整備されることで歩行者の通行利便性が向上する。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>類似事業は「道路バリアフリー事業」であるが、街路灯修繕や南割下水説明板設置などの工事も同時に整備できるため、事業工程において効率が図れている。</p>				
(4)現状と課題	すみだ北斎美術館の開館が間近であるため、遅延なく事業を完了させる必要がある。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	事業の必要性を重視した。
今後の方向性 (見直しの視点)	すみだ北斎美術館開館までに事業を完了させるため、関係各署と調整を十分に図っていく。		

平成27年度区 議会の質問状 況	時期	
	要旨	